令和2年5月9日田

編集·発行/埼玉県議会事務局 ©2020 埼玉県 〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1 電話 048(830)6257 FAX 048(830)4923



主 な 内 容

- ◆議長あいさつ
- ◆2月定例会の動き
- ◆議決の概要

2.3直

◆代表質問·一般質問

4.5面

- ◆予算特別委員会
- ◆主な質疑と答弁
- ◆令和2年度一般会計予算 の概要
- ◆県議会クイズ ~ ブレゼント付き!

- ◆委員会リポート
- ◆主要会派から
- ◆意見書·決議

- ◆「埼玉県ケアラー支援条例」、 「埼玉県受動喫煙防止条例」 を可決
- ◆政務活動費の
- インターネット公開を決定

長

あ

いさ

◆新たな委員会構成



埼玉県立上尾高等学校 3年生 廿樂 千加 様

第15回埼玉県議会フォトコンテスト 副議長賞「いただきます!!」 撮影者:石井 守彦 様 撮影場所:春日部市 内牧公園



アプリ「COCOAR2」をダウンロードして、上の写真にスマートフォンを かざすと、フォトコンテストの他の入賞作品をご覧になれます。

iPhoneはApple Inc.の商標または登録商標です。AndroidはGoogle Inc.の商標または登録商標です。









れロ



2月定例会の動き

2月20日(木)から3月27日(金)までの 37日間にわたって開かれました。

2月20日

開会日

知事提出議案について、知事から提案説明が 行われました。

2月26日・27日

代表質問

2月28日・ 3月2日・3日

-般質問

代表質問では、会派を代表して4人の議員 が、一般質問では9人の議員が質疑・質問を 行い、活発な論議が行われました。(2・3面)

2月26日・3月6日

常任委員会

補正予算・条例などの議案および請願の審査 などが行われました。 (6面)

2月25日 3月4日・9日・10日

特別委員会

議案および付託案件の審査が行われました。 ※予算特別委員会を除く。

3月11日~13日・16日: 予算特別委員会 17日・19日・23日・24日

当初予算案などについての集中的な審査が行 (4.5面) われました。

3月26日

委員長報告

3月27日

閉会日

各委員会の委員長報告を受けて採決が行われ ました。

なお、2月26日、28日、3月23日には知事 追加提出議案について、知事から提案説明 などが行われました。

このほかにも、 だと思っておりな国民の生命と財産 の下で県議会と県執 私は議会制 が の生命と財産を定は議会制民主主義 いう 決意を新 ると中 が 車 たにしております ij 第れ が 目標を)力を頂が この /が延期に |難を乗 する らまなっ り 表 こ は 越 制 と 、

況であります。いても深刻な事態 ŕ 1 ル現 が急 0 重責を感じております。 て なっているところそして埼玉県にお が状況を が策はもとより 先も見通せな のあるこ まし り、 かあ 田 け 村 済れわ新 県 琢 し いにばれ型 状おなわコ



田村琢実



埼玉県議会副議長 小久保憲一

議決の概要

知事提出議案

- ○令和2年度埼玉県一般会計予算【関連5面】
- ●令和2年度埼玉県一般会計補正予算(第1号)
- ●令和2年度埼玉県一般会計補正予算(第2号)

埼玉県5か年計画等の変更について

- 第2期埼玉県まち・ひと・しごと創生総合 戦略の策定について
- など76件を可決、そのほか6件に同意、1件を継続審査

議員提出議案

- 埼玉県ケアラー支援条例【関連8面】
- 埼玉県受動喫煙防止条例 【関連8面】
- 埼玉県政務活動費の交付に 関する条例の一部を改正する 条例【関連8面】

など12件を可決

代表質問・一般質問で 行われたすべての質疑 質問・答弁の全文は、埼 玉県議会のホームペー ジでご覧いただけます。





本会議の様子

日本一のスピードで高齢 は社会保障費の負担増大が予 は社会保障費の負担増大が予 は社会保障費の負担増大が予 は社会保障費の負担増大が予 る。今回の予算編成でどのよ る。今回の予算編成でどのよ る。今回の予算編成でどのよ

国際目標であるSDGs を踏まえ、知事は埼玉版 SDGsを発表し、誰一人取 SDGsを発表し、誰一人取 を目指すとした。令和2年度 を目指すとした。令和2年度 を目指すとした。令和2年度 を目指すとした。令和2年度 を目指すとした。令和2年度 を目指すとした。令和2年度 を関系の実態調査費が初めて計 とした。令和2年度 を関系の実態のである。

決意を含め所見を伺う。



西山淳次 (公明) (民主フォ

SDGs(※5)の

代表質問

について 令和2年度埼玉県予算

般質問

SDGs

ح

知事の政治姿勢

|ジェンダー平等について

『の県政運営方針

取り組みを



畄 ーラム)



重夫 (県民)



小島信昭 (自民)

代表質問

2月26日、27日の代表質問で 会派を代表して4人の議員が は、 質疑・質問を行いました。

災害対策

代表質問 ついて 豪雨災害へ

の対応に

代表質問

危機管理の要諦

代表質問

すべての県民

防災マニュアルブッ防災減災を県政の大

ブッ

主流に クを

ついて

A 18の県管理河川で最大規 を はい148の河川で県独自に が、併せて義務付けられてい が、併せて義務付けられてい が発生している。県内で激甚な が発生していることを考 水害が発生していることを考 水まが発生していることを考 がまし、5月末までを目途にす ででを公表する予定である。 は「悲観的に準備し、楽観的 るため、県の危機管理の要諦 るため、県の危機管理の要諦と 者によると危機管理の要諦と 者によると危機管理の要諦と は「悲観的に準備し、楽観的 は「悲観的に準備し、楽観的 は「悲観的に準備し、楽観的 とのことだが、 に対処する」とのことだが、 に対処する」とのことだが、 とは何かを伺う。

(際してはプロアクティブのに際してはプロアクティブのにかした。 をすこと、および実際の危機をマネジメントできるかを をすこと、および実際の危機 に際してはプロアクティブの に際してはプロアクティブの に際してはプロアクティブの に際してはプロアクティブの に際してはプロアクティブの を 機をマネジメントできるかを 機をマネジメントできるかを のを を でき行動を決め、訓練を繰り に際してはプロアクティブの

ま、防災マニュアルブックを県民に配布しているが配がまた、外出時ではないか。また、外出時ではないか。また、外出時ではないか。また、外出時ではないか。また、外出時できではないか。また、県の予算に大地震に配布しているが配いまではないか。また、外のではないか。また、外出時に大地震に配布しているが配います。 福祉

> 般質問 取り組みについて (※2)の今後の ステ

は 大学ではないか。 大学ではないか。 大学ではないか。 大学では、 、 大学では、 連後る外ずにしし活

A セミナーや交流会などで 対ービスの創出が始まってい あ。令和2年度はこれらをプラチナ・サポート・ショップ ラチナ・サポート・ショップ ラチナ・サポート・ショップ が付まってい が付まってい が付まってい が付まってい が付まってい が付まってい が付まってい が付まってい が付まってい がはまってい がはまってい がはまってい がはまってい がはまってい がはまってい がはまってい 取テ提ププいい支で

A 令和元年9月から川越・ 内部に設置に向けた市町村 で、拠点設置に向けた市町村 が、拠点設置に向けた市町村 が、拠点設置に向けた市町村 が、拠点設置に向けた市町村 が、拠点設置に向けた市町村 が、拠点設置に向けた市町村 が、拠点設置に向けた市町村 で、 への支援を進める。

般質問 ついて 県と市町村の関わりに知事の基本的考え方

と県のがな援の存な

一般質問 h(%8)

する 大針を策定すべきではないか。 では不可欠であり、新学習 には明確な を定めたEdTech推進 では不可欠であり、新学習 には明確な では不可欠であり、新学習 では不可欠であり、新学習

A 教育の情報化が急速に進れ次第、EdTechの活用が必要である。県は国の計画が必要である。県は国の計画が必要である。県は国の計画が必要である。県は国の計画を含む広い視野に立った計画れ次第、EdTechの計画が発達である。今後国の計画が策定され次第、EdTechの計画が策定され次第、EdTechの計画が策定され次第、EdTechの表情が表達に進

一般質問 | (※4)整備への支援について|| 子ども家庭総合支援拠点|| 児童相談所職員の負担軽減と

2

本 令和2年度当初予算案は 中国の実現に力強く踏み出す。 原の実現に力強く踏み出す。 で、河川インフラの強靭化、危 で、河川インフラの強靭化、危 で、河川インフラの強靭化、危 で、河川インフラの強靭化、危 で、河川インフラの強靭化、危 で、河川インフラの強靭化、危 で、河川インフラの強靭化、危

本部を、そしてまた多様 を参考としつつ、地域特性や を参考としつつ、地域特性や を参考としつつ、地域特性や を参考としつつ、地域特性や を参考としつで、地域特性や を参考としつで、地域特性や を参考としてまた多様 を対するではでの自 を対するではでの自 をがまれて集中的に取り をがまれて集中的に取り をがまれてまたの自 をがまれてまたの自

A市町村は住民に身近な事務を分担する対等な協力と を支援することもある。県は を支援することもある。県は を支援することもある。県は を支援することもある。県は を支援することもある。県は を支援することもある。県は を支援することもある。県は を支援することもある。県は を支援することもある。県は

とを県は村立関る事









高度医療を担保できるのか。 高度医療を担保できるのか。 る。地方独立行政法人になる る。地方独立行政法人になる とにより、医師不足の地域 とにより、医師不足の地域 を派遣できるようになるの を派遣できるようになる を派遣できるようになる とにより、医師不足の地域 を派遣できるようにはる とにより、といる県立

安藤友貴

3月2日(月曜日)



髙木功介 (自民)





般質問

2月28日、3月2日、3日の一 般質問では、9人の議員が質疑・ 質問を行いました。



(県民)

木下博信 (自民)



(公明)



町田皇介 (民主フォーラム)



2月28日(金曜日)

平松大佑



須賀敬史

安心·安全

医療•保健

代表質問

行政法人化について県立4病院の地方独立

般質問

A 保健所が感染者の感染経 体を国に緊急要望した。 一、原因や経路を徹底調査し、原因や経路を提供する。医 でルを国に求める。24時間対 でルを国に求める。24時間対 でルールの明 では事情を勘案し検 でルールの明 でいた開催は事情を勘案し検 でいた開催は事情を勘案し検 が必必で、 が必必で、 が必必で、 が必必で、 は事情をある。 を把握 を関の受け入れルールの明 を関めで、 が必必で、 が必必で、 が必必で、 は事情をある。 を把握

中止、検査体制の早急な整備。 中止、検査体制の早急な整備。 院の受け入れ体制の整備、県 院の受け入れ体制の整備、県 での解明と感染者の移動経路 と情報提供、感染原 のが強化、県主催イベントの はいのでは、県内感染者の正 りの強化、県主催イベントの はいりーダーシッ

代表質問

の感染拡大防止対策(コロナウイルス感染症)

代表質問

(情報通信技術)

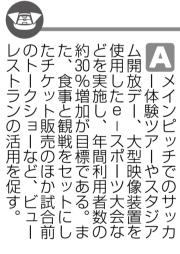
本ネット依存やゲーム障害 で依存症に精通した精神保健 で依存症に精通した精神保健 で依存症に精通した精神保健 で依存症に精通した精神保健 を踏まえ、保健所職員対象の を踏まえ、保健所職員対象の を踏まえ、保健所職との専門職 を踏まえ、保健所職員対象の を踏まえ、保健所の高い職員を育成 より専門性の高い職員を育成 なり、

と 平成30年度、本県の高校 と 1年生の約12%は、平日 の育成を行い、対策を早急に の育成を行い、対策を早急に の育成を行い、対策を早急に の育成を行い、対策を見在の の育成を行い、対策を見れる。 の育成を行い、対策を見れる。 として、 として、 の育成を行い、対策を見れる。 として、 本県の高校

障害の対策についネット依存・ゲーム 厶

Aスマート農業技術の進捗や 品目ごとの導入可能性を見極 いながら進める。令和2年度 が算入支援を検討するなど、 が導入支援を検討するなど、 が導入支援を検討するなど、 もうかる農業を推進する。

向けて スマー ト農業の普及に



埼玉スタジアム2002

はいれる。 はいれる。 はいれる。 はいるのか何う。また はいるのか何う。また昨年、スタジアム内にビューレストランが完成したが、有効 はいるのか何う。また昨日では、 ではまりて付加価値を高めてはどうか。

般質問 を真の「聖地」とするため埼玉スタジアム2002

A 令和元年度に果内保育所 ・ CT化の推進に取り組む。 ・ 大進事例の紹介のほか、シス ・ 方が導入が進んでいるとは ・ 言えない。有効性を認識して ・ を新たに加える。幼稚園へも ・ を新たに加える。幼稚園へも ・ を新たに加える。幼稚園へも ・ でいるとは ・ でいると ・ でいる ・ でいると ・ でいる ・

T化を推進すべきではないか。 大保育所のICT導入状況と、 内保育所のICT導入状況と、 内保育所のICT導入状況と、 内保育所のICT導入状況と、 内保育所のICT導入状況と、 大は、保育士の業務負担軽 をは、保育士の業務負担軽

般質問 について 保育園・幼 ·幼稚園 C 化の推進 などに

用語解説

プロアクティブの原則 危機管理に関して用いられ、

「疑わしいときは行動せよ」、「最 悪の事態を想定して行動せよ」、 「空振りは許されるが見逃しは許 されない」の三つの原則から成り 立つ考え方。

※2 地域包括ケアシステム

高齢者が住み慣れた地域で自分 らしい暮らしを続けられるよう、 医療、介護、介護予防、生活支援、 住まいを関係者が連携して一体的 に提供する仕組み。市町村が主体 となって構築する。

※3 プラチナ・サポート・ショップ ※7 LGBTQ 市町村と連携し、コンビニエン スストアによる移動販売のほか、 配達、送迎、見守りなど高齢者に 優しいサービスを実施している店 舗。登録した店舗のサービス情報 を地図などで可視化し、高齢者や

その家族に情報提供する。 ※4 子ども家庭総合支援拠点

すべての子どもとその家庭およ び妊産婦などを対象に、実情把 握、情報提供、相談、関係機関と の連絡調整など福祉に関し必要な 支援を行うための拠点。市町村が 整備し運営する。国は令和4年度末までに全市町村へ設置することを目指し ている。

Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)の略 称。2030年までに持続可能で「誰一人 取り残さない」世界を目指すための17 の国際目標で構成される。

%6 コンソーシアム

企業、大学、自治体などの各種団体 が複数集まり、共通の目的や目標を持 ち活動する組織。

レズビアン(女性の同性愛者)、ゲイ (男性の同性愛者)、バイセクシュアル (両性愛者)、トランスジェンダー(生 まれたときの性別と自認する性別が一 致しない人)に加え、クエスチョニン グ(性の在り方を決められない、分か らないなどの人)を指す表現。

%8 EdTech

Education (教育) とTechnology (技術) を組み合わせた造語。教育に おけるICTなどの新しいテクノロジー を活用した手法。

本「たまり場」は指導者に 体存しない点で斬新であ 方、指導者不在の中、公の施 管理はどう在るべきか、優秀 管理はどう在るべきか、優秀 である上で施設 でする上で施設 でする上で施設 はだうをとのように呼び込む な若者をどのように呼び込む なおばい点で斬新であ ながなど課題もある。その必要 かなど課題もある。その必要

国高度情報化社会の技術を 大人が指導しなくても自然と 大人が指導しなくても自然と 大人が指導しなくても自然と でお者ーT技術者が育つ。こうし でおまり場」を全国に先駆 の「たまり場」を全国に先駆 の「たまり場」を全国に先駆 の「たまり場」を全国に先駆 の「たまり場」を全国に先駆 駆めしと ゙をトしを

設置についてための「たまり場」のでは著者IT技術者養成の

般質問

その他の主な質疑・質問



●埼玉高速鉄道線延伸について

●教職員のわいせつ・セクハラ行為根絶に向けた取り組みについて

●重度心身障害者医療費支給事業補助金について

■温暖化防止へ政治決断を

铅質問 から

●本県の子どもたちをどう育んでいくのか

●子どもの貧困対策について

●直轄警察犬·警備犬、嘱託警察犬の活用と体制強化について

●ベトナムからの技術者・技能者などの受け入れ促進について

●地下鉄12号線の延伸について

●障害児者の家族にとって「入所施設」=「くらしの場」は待ったなし

●委託、発注などに対して留意すべきこと

●シェアサイクルの普及促進について

●新型コロナウイルス対策に伴う小学校、中学校、高等学校の休校への対応について

算帶別委

は総括質疑が、24日には討論・採決が行われました。審査の結果議 なお、一般会計当初予算案については、事業の執行に適切な対応

予算特別委員会は32人の委員で構成され、県の予算案を集中的に審査する 総括質疑では10人の委員が質疑に立ちました

を求める附帯決議を付すことを賛成多数により決定しました。

令和2年度一般会計当初予算案などについて、部局別質疑が3月 <mark>11日から13日、16日、17日、23日</mark>の6日間にわたり行われ、19日に

案23件を原案の通り可決すべきものと決定しました。

各委員の質疑に対し、一問一答方式で知事をはじめ執行部から答弁があり

さらなる発展が見込めるということ

目標人数の達成は厳しいが、

ている。これは、目標人数を超えて 摘しているが、予算案は増額となっ 予算の縮小も検討すべきであると指

人の実現可能性が低いのであれば、

おいて、参加人数の目標40万

昨年の本委員会の附帯決議に



多子世帯応援クー **(※1)について**

その趣旨から外れているのではない ることが本来の趣旨であり、クーポ 金請求している。多子世帯を応援す ンを前提とした現状の取り組みは、 クーポンとして利用せず、 配布を受けた世帯の約8割が 換

は有効と考える。 ビスが多くあるため、この事業 産後ケアや家事援助など、 ーポンだからこそ利用される

埼玉県コバトン健康マ

事業(※2)について

コンパクトシティの推

ぜ県が行うのか。 来市町村が行うべきと考えるが、 ると言われている。この事業は、 の中核的な担い手である市町村であ 進のための立地適正化計画の作成主 ると考えるが、コンパクトシティ推 パクトシティの取り組みは重要であ ティプロジェクトの検討に活用する ために行うことになっている。コン するとともに、埼玉版スーパー・シ 住民に最も身近でまちづくり は、市町村の取り組みを促進 コンパクトシティの推進事業

り取り組めない市町村に対し、支援 ことから、県としてコンパクトシテ していく。また、医療や福祉、商業 状況にある。人材や技術の不足によ 成している市町村は27市町で少ない 広域的な見地で検討する必要がある まちづくりの主体は市町村で あるが、立地適正化計画を作 市町村単位ではなく、

付与されるよう改善を図っていく。

ついて

渋沢栄一翁の大河ドラマ化に

メニューの食事などでもポイントが

スポーツクラブの利用や健康 県民の健康づくりを推進する

> うべきと考えるがどうか。 絹産業をテーマとした観光振興を行

で埼玉・群馬の絹遺産をタクシーで めていく。 定であり、より一層の観光振興に努 巡る企画が4月からスタートする予 ては、本庄早稲田駅を起点に、半日 り組んでいる。新たな取り組みとし ルートを設定し観光振興に取 現在、絹をテーマとした周游



について 新型コロナウイルス感染症対策

松坂 松澤

喜浩(県民)

正(自民)

江原久美子(県民)

茂実(県民)

宇田川幸夫(自民)

明(自民)

忠義(県民)

白根

大輔(民主フォーラム)

功介(自民) 京子(自民)

出

.村ゆり子(県民)

稔裕(無所属)

可能な病床数は現時点で汚床である く必要があると考えるがいかがか。 において、早急に病床を増やしてい が、十分でないと考える。県立病院 新型コロナウイルス感染症対 策について、本県全体の入院

床のように活用することなどの検討 者と切り離すことにより、 特定の一般病棟を新型コロナウイル 在、呼吸器系疾患の患者が入院する 行う必要があると考えている。 ス感染症患者の専用にし、 今後、県立病院が中心的な役 割を担えるような体制整備を ほかの 感染症病 現

多子世帯応援クーポン事業

多子世帯の育児に係る負担を軽減するため、平成29年度から第3子以降の子ども

埼玉県コバトン健康マイレージ事業 **%2**

キングや特定健診の受診などでポイントが貯まり、抽選で賞品が当たるな ど、楽しみながら手軽に健康づくりができる事業。

語

用

馬県を含む県北地域で盛んであった

関係した富岡製糸場など、群

ドラマ化を契機に、

渋沢翁が

荒木

裕介(自民)

小久保憲一(自民)

文和(共産党)

秀樹(自民) 静佳(自民) 博史(自民) 雅也(自民) 俊彦(自民)

が生まれた世帯を対象に、育児サービスなどに利用できるクーポンを配布する事業。

権守 白土 幸男(公明) 幸仁(自民) 正乃(民主フォーラム) 宏芳(自民) 礼子(共産党) 徳明(公明) 豊(公明)

高志(自民) 真理(民主フォーラム)



副委員長 浅野目 義英 (民主フォーラム)



副委員長 宏 (自民)



委員長 小林 哲也 (自民)

(令和2年3月27日現在)

ついて 財政調整 財政調整のため の め

ための基金残高に

するが、 基金が枯渇するのではないかと推測 影響などを考慮すると、 の影響を考慮しておらず、 70億円の見込みとなっている。 この 額は新型コロナウイル 影響も含めて、基金残高の見新型コロナウイルス感染症の 推移を見ると、 対策は講じているのか。 令和2年度は 基金残高の 高い確率で 経済への

での品種登録について かおりん」と「あまりん 発され 知事は記者会見で、 新品種、



り 本県で開 海外

その他の主な質疑

部局別質疑から

する観点からも必要と考える。

このような芸術性についてご理解を

事業に税金を使用

本でも唯

一と高く評価されている。

世界でも貴重な取り組みであり、日

芸術性を発信する観点からは、

摘のとおりである。

他方で、

えるのか。

経済面だけで考えれば、ご指

ない。芸術と予算の妥当性をどう考

2000万円の収入見込みしか

いては、

1億円の支出に対し ルド祭2020につ

ぼない。

海外での品種登録には、

玉

こととなっているが、

輸出実績がほ

ごとに1品種当たり1

00万~20

出の状況や費用対効果などを見なが 0万円の費用が掛かることから、 世界ゴー

- 県有施設への公共Wi-Fiの設置
- 会計年度任用職員の報酬
- 防犯カメラの適切な運用と設置
- 食品ロス削減計画の推進
- ●アウトリーチ事業などによる精神障害者の支援
- 外国人患者受け入れ環境の整備
- 聴覚障害者への情報提供の促進
- 県内大学生の県内企業への就職促進対策
- 下水道資源の有効活用
- 県立学校におけるICT環境整備
- ●SNSを活用した教育相談
- 交通事故死亡者数減少への取り組み
- ●新型コロナウイルス感染症の影響を受けた中小企業への 新たな金融支援

総括質疑から

- 就職氷河期世代を対象とした職員採用試験の費用対効果
- 県有施設エコオフィス化改修事業の妥当性
- 海外サポートデスクの見直し
- 埼玉版FEMAと危機管理対策
- 医療的ケア児への支援
- 大宮スーパー・ボールパーク構想
- 埼玉版SDGsの推進
- 今後の道路整備の進め方
- 新型コロナウイルス感染者フォローアップの体制整備

県議会クイズ

8面をよーく

読んでね!

🔽 〇に当てはまる言葉は何でしょう。

令和2年2月定例会で、〇〇〇〇費の

インターネット公開が決定しました。

はがきに下記のようにご記入の上、6月 プレゼント 2日(火)(当日消印有効)までにお送りく ださい。正解者の中から抽選でプレゼント を差し上げます。

図書カード (1,000円分) 20名様

当選者の発表は、プレゼントの発送をも って代えさせていただきます。対象は、埼玉県内に在住・在勤・在学 している方のみとなります。

県議会ホーム 帰職五小 - ページからも ▶ ご応募いただ けます。



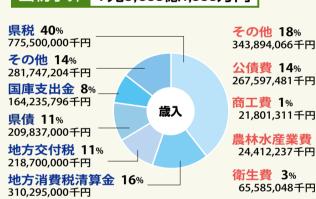
【個人情報の取り扱い】応募は がきは 抽選とプレゼントの登 送以外の目的には使用いたしま せん。

330-9301 63 政策調査課埼玉県議会事務局 「県議会クイズ」

1.クイズの答え 2.郵便番号 3.住所 4.県外にお住まいで通 勤・通学先が県内の 方は、その市町村名 5.任夕,在黔 6.埼玉県議会だよりに 対するご意見

今和2年度 一般会計予算の概要

1兆9,603億1,500万円



343,894,066千円 267,597,481千円 21,801,311千円 24,412,237千円

380,728,403千円 歳出

教育費 25% 490,816,124千円 民生費 19%

147,331,176千円

土木費 6% 123,581,374千円

総務費 5% 94,567,780千円

安心・元気のスタートアップ

安心・安全しっかり確保 持続可能な成長・発展 誰もがいきいき活躍

- ●災害に強い埼玉の構築
- ●県民の安全強化

考える。

世界ゴー

ルド祭2020に

契約を結んだ団体しか利用できないと考えている。国内では、県と使用

来的に基金残高の復元に貢献すると げる県の力を紡いでいくことが、

録が必要と考えるがどうか。

かおりん」

「あまりん」

界で勝負ができるイチゴだ

いる。 ておらず、

世界で戦うには早急な品種登

取り組みを徹底していく。

減の努力など、

歳入・歳出の両面で

いたが、

海外での品種登録がなされ

輸出機会の損失が生じて

政措置のある県債の充当、

コスト縮

世界進出を目指していると発言して

かおりん」、「あまりん」について、

たイチゴの

確保や国庫補助金の活用、

)は厳.

しい状況である。

県税収入 地方財

- 医療体制の充実
- ●東京2020オリンピック・パラ リンピックの成功に向けた取 り組み
- ●埼玉の稼げる力の向上
- ●未来を見据えた基盤づくり
- ●人生100年を見据えたシニア の活躍推進
- 子育て応援埼玉
- 誰もが活躍できる社会の実現

補正予算(第1号) 4億5,327万5千円

新型コロナウイルス感染症に係る、県民相談体制 の強化、検査・医療提供体制の強化、感染者フォ ローアップ体制の整備に要する経費

6億6,636万8千円 補正予算(第2号)

新型コロナウイルス感染症に係る、医療機関への マスク配布など感染拡大防止対策の実施、検査体 制の強化、中小企業支援に要する経費

令和2年度一般会計予算 補正後累計

1兆9,614億3,464万3千円

附带決議

次の事業については、それぞれ懸念があるため、必要性や執行方法について十分検討し、適切に対 応するよう求めました。

- ●2020年東京五輪文化プログラム育成プロジェクト ●県内建設産業の育成
- ●県有施設エコオフィス化改修事業
- ●多子世帯応援クーポン事業
- ●埼玉県コバトン健康マイレージ事業
- 子供世代へのラクビー普及・啓発事業
- ●市民共同発電の普及推進
- ●就職氷河期世代を対象とした新たな職員採用試験
- ●海外ビジネスサポート拠点

議会運営委員会

2月13日と定例会中の8日間、会議を

2月26日、3月6日に常任委員会を開き、議案および請願の審査などを 行いました。審査の結果、議案50件を原案の通り可決すべきものと決定 しました。また、請願2件を不採択とすべきものと決定しました。

2月25日、3月4日、9日、10日には特別委員会を開き、議案および付 託案件の審査を行いました。このうち、5か年計画等特別委員会では議 案5件を可決すべきものと決定しました。

自然再生・循環社会対策 特別委員会

自然環境の保全・再生と資 源循環社会づくりについて審

特別委員会

行財政・職員の働き方改革 について審査

特別委員会

(公財)埼玉県芸術文化振 興財団、(公財) 埼玉県国際交 流協会および(福)埼玉県社 会福祉事業団における改革の 取り組みについて審査

少子•高齢福祉社会対策 特別委員会

高齢者への支援について

経済•雇用対策 特別委員会

企業誘致および先端産業創 造プロジェクトについて審査

危機管理•大規模災害対策 特別委員会

危機や災害に備えた実践的 な訓練の実施、災害対応分野 における最新技術の動向につ

人材育成・文化・スポーツ **【振興特別委員会**

文化の振興について審査

開き、本会議を円滑かつ効率的に進行す るため、議事日程、質疑質問者の人数、採 決の方法や順序などについて会派間の協 議を行いました。

?名を増員する。

産業労働企業委員会

企業の資金繰りの支援について 新型コロナウイルス感染症の拡大 により影響を受けている県内中小

負担額について

ついて、必要な箇所はど急傾斜地崩壊対策事業に

あり、

その進捗はどう

要する経費の関係市町村の 急傾斜地崩壊対策事業に

いて の一部を改正する条例につ 埼玉県学校職員定数条例

■文教委員会

支援は検討しないのか。いるが、本県では、そのようなし 融資の保証料を補助して 融資の保証料を補助して東京都や沖縄県では制度

あり、 を満たす対象箇所が745カ所このうち、県が事業を行う要件は、県内に3619カ所ある。 うちー2ーカ所で対策が ある土砂災害警戒区域急傾斜地崩壊の危険性が

業者が負担するトータルコスト

も

事業者負担を軽減している。事おり、本県では利子補給により

まり運営方法が異なって 制度融資は、都道府県に

と考えている。職員の負担増には は変わらないため、 人当たりの生徒受け持ち数単、生徒の収容定員の減少に

A 東日本大震災による 時と今年1月1日現在と額補正するものである。

いをピような選る比しりが避 較ク減想難

2号)について 助事業特別会計補 令和元年度埼玉県災害 警察危機管理防災 正予

避難者が減ったため減額で表現である。 業費について、県内 のことだが、どの災害に どのくらい減った たのか。選の入事

切策をべ在め な定条てすて

委員は次のとおりです。 定数14人(◎は委員長、○は副委員長)

◎本 木 茂 (自民) 醍醐 清(県民) ○田村琢実(自民) 小久保憲一(自民) 平松大佑 (県民) 荒木裕介(自民) 髙木真理(民主フォーラム) 関根信明(自民) 藤井健志(自民) 村岡正嗣(共産党) 美田宗亮(自民) 木下高志(自民) 井上将勝(民主フォーラム) 石渡 豊(公明)

を改正する条例について

どの の 部局が増員されるのか。 の復旧やCSF(豚熱)令和元年東日本台風被害

。また、CSF関連で農林部、都市整備部1名の増員を行り、農林部2名、県土整備部81 《を増員するとのことだが、)対応体制強化などのために は台、風 危機管理防災部ー被害復旧の関連で

で設営費を削るなど、調整の結会場は既存施設を活用することが多く、屋外に仮設予定だった 果かなりの部分が削減できた。 く、屋外に仮設予定だった一細かい部分では個別協議基本的な費用負担以外の

県土都市整備委員会

補正予算(第7号)について 令和元年度埼玉県一 一般会計

条例について

埼玉県森林環境譲与税基金

環境農林委員会

■企画財政委員会

総務県民生活委員会

埼玉県職員定数条例の一

部

円の減額補正となっている。どの当初予算から3億3200万カップ大会について、県の時年のラグビーワールド ような工夫で圧縮できたのか。

ているの

どを対象とした木造建築に関すバイザーの派遣や市町村職員な 、県林業技術者研修を実施し、市町村へ提供している。ま行った履歴データを整備に過去に間伐などの作業を 木造建築技術アド

る適に頂す存含

令和2年3月27日現在

のか。与税をどのように活用しり和元年度は森林環境譲

はなされたのか。 ケアラーの問題につい 育てを同時に行 い行のてうか

、ダ護 義ブと

論ル子

議ブ

埼玉県ケアラー支援条 ついて [条例の概要は8面参 ! 例

福祉保健医療委員 会

会派別所属議員数 今和2年4日23日現在

131H 77.			
会派名(略称)	所属議員数		
自民	50人		
県民	14人		
民主フォーラム	12人		
公明	9人		
共産党	6人		
改革	1人		
無所属	1人		
計	93人		

県庁舎建替え等検討特別委員会

知事に提言書を提出

令和元年6月定例会で本委員会が設置され、県庁舎の建て替えおよ び周辺整備・地域活性化などについて審査および調査を行ってきた結 果、現在の県庁舎は老朽化や狭あい化が著しく、業務の効率化や生 産性の向上、ICTへの対応などでさまざまな課題が判明しました。ま た、優秀な人材確保に悪影響を与えかねないと懸念されています。

そこで、将来の県庁舎の在り方について早急に検討に着手すべきな どとした提言書を知事へ直接提出し、今後検討結果を定期的に議会^ 報告するよう求めました。

会 派 か ~2月定例会



団長

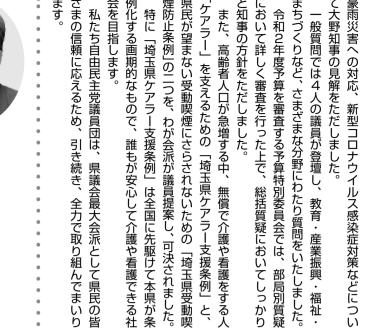
埼玉県議会自由民主党議員団

信昭

6 大野知事の見解をただしました。 『雨災害への対応、新型コロナウイルス感染症対策などについ 2月定例会では、 一般質問では4人の議員が登壇し、教育・産業振興・福祉・ 私が代表質問を行い、知事公約の進め方、

例化する画期的なもので、誰もが安心して介護や看護できる社 県民が望まない受動喫煙にさらされないための「埼玉県受動喫 「ケアラー」を支えるための「埼玉県ケアラー支援条例」と、 **煙防止条例」の二つを、わが会派が議員提案し、可決されました。** また、高齢者人口が急増する中、無償で介護や看護をする人 特に「埼玉県ケアラー支援条例」は全国に先駆けて本県が条

引き続き、全力で取り組んでまいり



私たち自由民主党議員団は、県議会最大会派として県民の皆



無所属県民会議

団体との連携強化を求め、朝霞市選出の醍醐清議員が、児童相 組みなどを知事に質問しました。また、一般質問では新座市選 直し、新型コロナウイルス感染防止対策や児童虐待防止の取り 性について質問しました。 出の平松大佑議員が、子どもの貧困対策で市町村や地域の支援 談所の体制強化策として朝霞地区への児童相談所の新設の必要 2月定例会の代表質問では、私が埼玉県の危機管理体制の見

業内容などについてしっかりと議論を行いました。なお、新型 に大型補正予算の審査もあり、議会と執行部が一体となり対応 コロナウイルスの感染拡大や、突然の小中高校の休校への対策 み、令和2年度予算案について大野知事をはじめ執行部と各事 に取り組みました。 さらに、予算特別委員会には、石川忠義議員、江原久美子議 松坂喜浩議員、杉田茂実議員、岡村ゆり子議員の5名が臨

が懸念されます。県民の安全で安心な生活のために、 も会派一丸となり活動してまいります。 今後、東京オリンピック・パラリンピックの延期による影響 これから

にも全力で取り組みました。



埼玉民主フォーラム

田並

などについて12項目の質問、提案をさせていただきました。 提供・経済活動への影響や、雇用・教育・農業・子どもの人権 た、新型コロナウイルスに関する医師会との連携・正しい情報 に対しその思いや施策の進め方について質問いたしました。ま 2月定例会では私が代表質問に立ち、大野知事初の予算編成 一般質問では町田皇介議員が登壇し、児童相談所職員の負担

元気のスタートアップ予算について、前向きな提案を含め質問 をいたしました。 議員が副委員長に就任し運営に尽力しました。 会派からは山本 止乃議員、髙木真理議員、白根大輔議員が質問に立ち、安心・ また、予算特別委員会では、初めてわが会派から浅野目義英

クの延期など社会情勢が変わる中、 丸となり大野知事など執行部と県民生活を守るための議論がで きたと思います。 加議案も提出され、例年より慌ただしい議会でしたが、会派一 新型コロナウイルス感染拡大、オリンピック・パラリンピッ 補正予算をはじめとする追



団長 埼玉県議会公明党議員団

日本共産党埼玉県議会議員団

提案しました。 レカーの導入や避難所となる学校体育館屋根の断熱・遮音化を た。一般質問には安藤友貴議員が登壇し、災害対策としてトイ たが、公明党議員団はベストを尽くして審議に臨みました。 局齢社会への対応などについて県の一層の取り組みを求めまし 代表質問には私が立ち、温暖化対策などの地球環境問題や超 2月定例会は、新年度予算を含む多くの議案が提出されまし

蒲生徳明議員、権守幸男議員が一問一答の論戦を展開。新型コ ロナウイルス感染症対策、新たな幹線道路の整備、鉄道の高架 化などについて取り上げました。 また、新年度県予算で、私立高等学校授業料の実質無償化が 一週間に及ぶ審査を行った予算特別委員会では石渡豊議員、

年収720万円未満の世帯まで拡大したことは、わが党の大き 業者への支援要請など、新型コロナウイルス感染症の関連対策 **な成果と考えています。** さらに学校休業による給食停止で大きな影響を受けた食材事

あり評価いたします。

5か年計画等特別委員会

軽減や屋内50メートルプールの整備など7項目について質問い

たしました。

5か年計画および各分野における基本的な計画の策定など に関する件について審査

2月26日に5か年計画等特別委員会が設置され、法律や制度の改正 などに伴い目標値の整合性が取れていないものなど21指標の見直 行う「埼玉県5か年計画(平成29年度からの5年間の県政運営の指針)」 や、国の戦略を勘案した取り組みなどを新たに追加した「第2期埼 ・ひと・しごと創生総合戦略(生産年齢人口の減少や少子高齢 対応するために令和2年度からの5年間に推進すべき取り組み内容)」 などに関する5件の議案について審査を行いました。審査の結果、議 案5件を可決すべきものと決定し、本会議で可決されました。

委員は次のとおりです。定数18人(◎は委員長、○は副委員長)

				令	和2年3月27日現在
◎宮崎栄治郎	(自民)	橋詰昌児	(公明)	白土幸仁	(自民)
○中屋敷慎一	(自民)	並木正年	(県民)	萩原一寿	(公明)
秋山もえ	(共産党)	細田善則	(自民)	武内政文	(自民)
八子朋弘	(県民)	井上将勝	(民主フォーラム)	木下高志	(自民)
宮﨑吾一	(自民)	井上 航	(県民)	杉島理一郎	(自民)
吉良英敏	(自民)	立石泰広	(自民)	木村勇夫	(民主フォーラム)

意見書•決議

意見書6件を可決し、国に提出しました。 また、決議1件を可決しました。

(●は全会一致での可決、〇は賛成多数による可決)

開かれました。大野知事が2度にわたり提出した新型コロ

2月定例会は、新型コロナウイルスの感染が広がる中で

ナウイルス対策の補正予算は、全会一致で可決されました。

予算審査では、児童相談所職員の増員や、特別支援学校

- ●新型コロナウイルス感染症対策の強化を求める意見書
- ●ヒアリ対策の徹底を求める意見書

取り上げて、障害者入所施設の整備計画についてや川口市

行いました。答弁はおおむね県民の声を受け止めたもので に「肢体不自由特別支援学校」の整備を求める質問などを わが子はどうなるか」という、障害児者の家族の生の声を

一般質問では村岡正嗣議員が質問に立ち、「親亡きあと

の支援など、引き続き県民の切実な要求実現に向けて全力

新型コロナウイルス感染症対策、深刻化する地域経済へ

で頑張ります。

- ●新たな過疎対策法の制定を求める意見書
- ●外国人児童生徒等への日本語教育の充実を求める意見書

改善を要する予算は指摘しましたが、予算案には賛成しま

態調査の実施などについては評価できるものであるため、 の新たな設置、被災者安心支援制度の拡充、LGBTQ実

- ○刑事被告人の保釈に関する制度等の改善を求める意見書
- ○新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急経済対策を求める意見書
- ●教職員のわいせつ行為等の不祥事の根絶を求める決議

埼玉県議会の令和元年度 情報公開の結果について

令和元年度に公開請求を受け付けた公文書の件数は、75件でした。 そのうち文書のすべてを公開したものが8件、プライバシーに配慮し て氏名や印影など、文書の一部を公開しない部分公開が67件でした。

2月定例会の主な議員提案条例

「埼玉県ケアラー支援条例」を可決

本県は、後期高齢者人口が全国一のスピードで増加していくことが見込まれるとともに、核家族世帯の割合も高い状況です。また、高齢者だけでなくさまざまな現場で、介護や看護をする人、いわゆる「ケアラー」の負担が大きな問題となっています。

そこで、ケアラー支援に関して県の責務などを明らかにし、基本的事項を定めることで、ケアラー支援に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、すべてのケアラーが健康で文化的な生活を営むことができる社会の実現を目的とした本条例案が議員提出され、全会一致で可決されました。

(施行:令和2年3月31日)

県の責務、県民などの主な役割

●県の責務

・ケアラー支援に関する施策の実施など

●県民の役割

・ケアラー支援の必要性の理解と県および 市町村が実施する施策への協力

●関係機関の役割

・日常的にケアラーに関わる可能性の認識 と支援の必要性の把握など

推進計画

●県はケアラー支援に関する推進計画を策定

●計画にはケアラー支援 の基本方針や具体的施 策を定める



「埼玉県受動喫煙防止条例」を可決

望まない受動喫煙を防止するため、健康増進法が改正され、令和 2年4月から全面施行されることとなりました。しかし、既存の経



営規模の小さな飲食店は店全体を喫煙場所にできるなど、対策が十分とは言えません。そこで、受動喫煙の防止に関して県の責務などを明らかにするとともに、県民が受動喫煙を避けることができる環境を整備することにより、望まない受動喫煙を生じさせることのない社会の実現を目的とした本条例案が議員提出され、全会一致で可決されました。 (施行:令和3年4月1日)

■県などの責務

●県の責務

- ・受動喫煙の防止 などに関する総 合的な施策の策 定および実施
- ●県民の責務
- ・他人に受動喫煙 させないことな ど
- ●保護者の責務
- ・監護に係る未成 年者に対する受 動喫煙の防止

■喫煙可能室の設置の禁止について

既存の経営規模の小さな飲食店では、喫煙可能室を設置する ことができません。ただし、以下の要件に該当する場合は、設 置することができます。

◎従業員を雇用していない場合

◎従業員を雇用しているときは、以下の区分に応じて、それぞれから承諾を得た場合

喫煙可能室を新設する場合

喫煙可能室の設置後、 従業員を新たに雇用する場合

一定の時期に報告を行う場合



当該従業員から



政務活動費のインターネット公開を決定

県議会議員の調査研究などの活動に必要な経費の一部として、政務活動費が会派に交付されています。政務活動費のインターネット公開の実施に向けて、各会派が集まり議論を進めてきましたが、検討結果を令和2年2月13日に神尾議長に報告しました。この報告を踏まえ、「埼玉県政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例」(施行:令和2年4月1日)が議員提出され、全会一致で可決し、政務活動費のインターネット公開が決定しました。



報告の様子

【公開対象年度】 令和2年度の 交付分から

【公開開始時期】 令和3年度から

お問い合わせ

県議会事務局 総務課経理担当 TEL:048-830-6217 FAX:048-830-4921

新たな委員会構成

※○は委員長、○は副委員長です。

令和2年3月28日現在

委員会名		正副委員長	委員
議会運営委員会	定数 17	○ 須賀 敬史(自民 ○ 細田 善則(自民 ○ 石川 忠義(県民	井上 航(県 民)萩原 一寿(公 明)齊藤 邦明(自 民)中屋敷慎一(自 民)木下 高志(自 民)
常任委員会			
企画財政委員会	定数 12	○ 吉良 英敏(自民○ 杉島理一郎(自民	高橋 稔裕 (無 所 属)松井 弘 (自 民) 白根 大輔 (駐フォーラム)並木 正年 (県 民) 井上 将勝 (駐フォーラム) 鈴木 正人 (県 民)新井 一徳 (自 民)蒲生 徳明 (公 明)田村 琢実 (自 民)長峰 宏芳 (自 民)
総務県民生活委員会	定数 12	◎ 藤井 健志(自民○ 岡田 静佳(自民	
環境農林委員会	定数 11	○ 内沼 博史(自民○ 権守 幸男(公明	金野 桃子 (県 民) 千葉 達也 (自 民) 石川 忠義 (県 民) 秋山 文和 (共 産 党) 岡地 優 (自 民) 小川真一郎 (自 民) 諸井 真英 (自 民) 山本 正乃 (駐フォーラム) 小島 信昭 (自 民)
福祉保健医療委員会	定数 12	◎ 美田 宗亮(自民○ 横川 雅也(自民	岡村ゆり子 (県 民)深谷 顕史 (公 明)秋山 もえ (共 産 党)宮崎 吾一 (自 民)東間亜由子 (駐フォーラム) 井上 航 (県 民)日下部伸三 (自 民)髙木 真理 (駐フォーラム)高橋 政雄 (自 民)小谷野五雄 (自 民)
産業労働企業委員会	定数 12	○ 松澤 正(自民○ 永瀬 秀樹(自民	水村 篤弘 (民主フォーラム) 木下 高志 (自 民) 須賀 敬史 (自 民) 塩野 正行 (公 明) 齊藤 正明 (自 民)
県土都市整備委員会	定数 12	◎ 浅井 明(自民○ 安藤 友貴(公明)	中野 英幸 (自 民)細田 善則 (自 民)岩﨑 宏(自 民)小林 哲也 (自 民)田並 尚明 (駐フォーラム)
文教委員会	定数 11	○ 木下 博信(自民)○ 宇田川幸夫(自民)	中屋敷慎一 (自 民) 柳下 礼子 (共産党)西山 淳次(公 明)浅野目義英(駐フォーラム)
警察危機管理防災委員会	定数 11		逢澤圭一郎 (自 民) 八子 朋弘 (県 民) 辻 浩司 (駐フォーラム) 岡 重夫 (県 民) <mark>小久保憲一</mark> (自 民) 立石 泰広 (自 民) 村岡 正嗣 (共 産 党) 神尾 髙善 (自 民) 宮崎栄治郎 (自 民)
			特別委員会
自然再生·循環社会対策 特別委員会	定数 13	◎ 武内 政文(自民○ 横川 雅也(自民	松井 弘 (自 民) 深谷 顕史 (公 明) 中川 浩 (改 革) 関根 信明 (自 民) 永瀬 秀樹 (自 民) 井上 航 (県 民) 岡 重夫 (県 民) 髙木 真理 (駐フォーラム) 神尾 髙善 (自 民) 本木 茂 (自 民) 西山 淳次 (公 明)
地方創生·行財政改革 特別委員会	定数 13	◎ 新井 豪 (自民○ 細田 善則 (自民	金野 桃子 (県 民) 平松 大佑 (県 民) 宮﨑 吾一 (自 民) 木下 博信 (自 民) 辻 浩司 (駐フォーラム) 安藤 友貴 (公 明) 立石 泰広 (自 民) 村岡 正嗣 (共 産 党) 木村 勇夫 (駐フォーラム) 岩﨑 宏 (自 民) 齊藤 正明 (自 民)
公社事業対策特別委員会	定数 13	◎ 齊藤 邦明(自民○ 杉島理一郎(自民	柿沼 貴志 (県 民) 逢澤圭一郎 (自 民) 白根 大輔 (駐フォーラム) 杉田 茂実 (県 民) 飯塚 俊彦 (自 民) 秋山 文和 (共産党) 荒木 裕介 (自 民) 萩原 一寿 (公 明) 山本 正乃 (駐フォーラム) 高橋 政雄 (自 民) 小島 信昭 (自 民)
少子·高齢福祉社会対策 特別委員会	定数 13	○ 日下部伸三 (自民○ 吉良 英敏 (自民	渡辺 大 (自 民) 東間亜由子 (駐フォーラム) 守屋 裕子 (共 産 党) 松坂 喜浩 (県 民) 並木 正年 (県 民) 岡田 静佳 (自 民) 山根 史子 (駐フォーラム) 木下 高志 (自 民) 須賀 敬史 (自 民) 塩野 正行 (公 明) 長峰 宏芳 (自 民)
経済・雇用対策 特別委員会	定数 13	◎ 岡地 優(自民○ 美田 宗亮(自民	千葉 達也 (自 民) 秋山 もえ (共 産 党) 江原久美子 (県 民) 藤井 健志 (自 民) 石川 忠義 (県 民) 井上 将勝 (駐フォーラム) 権守 幸男 (公 明) 新井 一徳 (自 民) 梅澤 佳一 (自 民) 宮崎栄治郎 (自 民) 田並 尚明 (民主フォーラム)
危機管理·大規模災害 対策特別委員会	定数 13	○ 白土 幸仁(自民○ 蒲生 徳明(公明	高橋 稔裕(無 所 属)髙木 功介(自 民)松澤 正(自 民)橋詰 昌児(公 明)内沼 博史(自 民) 醍醐 漬 (県 民)水村 笙弘(Fキフォーラム)鈴木 正人 (県 民)中屋動情一 (白 民)柳下 礼子(共 産 党)
人材育成・文化・スポーツ 振興特別委員会	定数 13	○ 小川真一郎(自民 ○ 宇田川幸夫(自民	岡村ゆり子 (県 民) 山口 京子 (自 民) 町田 皇介 (駐フォーラム) 八子 朋弘 (県 民) 浅井 明 (自 民) 前原かづえ (共 産 党) 中野 英幸 (自 民) 諸井 真英 (自 民) 小谷野五雄 (自 民) 石渡 豊 (公 明) 浅野目義英 (駐フォーラム)
図書室委員会	定数 14	◎ 岡田 静佳(自民○ 松澤 正(自民	逢澤圭一郎 (自 民) 松井 弘 (自 民) 秋山 もえ (共 産 党) 辻 浩司 (駐フォーラム) 石川 忠義 (県 民)山根 史子 (駐フォーラム) 井上 航 (県 民)新井 豪 (自 民)権守 幸男 (公 明)新井 一徳 (自 民)梅澤 佳一 (自 民)小島 信昭 (自 民)